

助手

矢野 夏実

■ 学歴

1. 2021 年 西南女学院大学 卒業

■ 学位

1. 2021 年 学士

■ 研究分野

- 1.
- 2.
- 3.

■ 研究キーワード

- 1.
- 2.
- 3.

■ 研究課題

- 1.
- 2.

■ 担当授業科目

1. 給食経営管理実習 I (2 年後期)
2. 給食経営管理実習 II (3 年前期)
3. 生化学実習 (2 年前期)
4. 総合演習 I (3 年前期)
5. 応用調理学実習 (1 年後期)
6. 臨床栄養学実習 (3 年後期)
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

1.	授業科目名【給食経営管理実習Ⅰ、Ⅱ】 給食経営管理実習Ⅰでは、学生にとって初めての大量調理であり今までの調理実習と作業工程も異なるため、食品の取り扱いから作業工程について、その都度学生の理解度の確認を行った。また、実際の給食施設の現場では作業動線の効率化を図ることも重要なため、従事者同士のコミュニケーションや連携がいかに大切かを理解させ実習に取り組んだ。通常の調理機器よりも特殊な機器を取り扱うため、安全面には指導員共同で目を配り、危機予知については常に心がけ未然にアクシデント等の回避につながる指導にあたった。 給食経営管理実習Ⅱでは、Ⅰで身につけた技術を基に一人一人が積極的に取り組み、自分の担当する作業以外にも臨機応変に従事できるよう促した。実習において重要な品質管理については、納品した食材が発注通りの重量であるか等といった検収項目を伝票と照らし合わせ、当日実習が円滑に進むよう確認を徹底した。調理工程においても注意する点や、学生に対して補助が必要な箇所は事前に指導員側で打ち合わせを行い、学生の質問の意図に迅速に対応ができるよう努めた。
2.	授業科目名【応用調理学実習】 応用調理学実習では、基礎調理学実習で身につけた調理技術を基に調理工程の一連を理解させ、自ら率先して実習に参加するよう促した。調理において付随する前準備や後片付けといった作業に関しても、実習を行う上で重要であるため、学生主体で作業に偏りが生じないように指示を行った。
3.	授業科目名【総合演習Ⅰ】 臨地実習に臨むにあたって、学生が媒体作成に必要な教材は前もって在庫確認を行い準備した。提出物に関しては学生への連絡をこまめに行い、連絡の漏れが生じないように徹底した。また、期限のあるものに関しても厳守するよう促した。
4.	授業科目名【生化学実習】 生化学実習では、授業で行う実験内容を予習しておき、実験の予行演習を行うことで、実験当日は学生のサポートに円滑に対応できるよう準備を行った。実験器具や試薬などを取り扱うため、常に学生には目を配り、安全に実験実習に取り組めるよう心がけた。
5.	授業科目名【臨床栄養学実習】 臨床栄養学実習では、各疾患や病態合わせての献立を調理するため、調理要点を理解し学生の指導にあたった。また、示範用の食材などは事前に料理ごとに分けておき、当日は短い時間で学生に調理工程の一連を目で見て理解させ、流れを把握したうえで実習に取り組めるよう努めた。

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2022 年 4 月～現在に至る	日本栄養士会	正会員
2.	2023 年 1 月～現在に至る	日本給食経営管理学会	正会員

■ 研究業績等に関する事項（2024 年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
（著書）					
1.					
2.					
3.					
（学術論文）					
1.					
2.					
3.					
（翻訳）					
1.					
2.					
3.					
（学会発表）					
1.					
2.					
3.					

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

（1） 共 同 研 究				
	研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者（ ）内は学外 者	交付決定額 （単位：円）
1.				
2.				
3.				

（2） 個 人 研 究				
	研 究 題 目	交付団体	交付決定額 （単位：円）	備 考
1.				
2.				
3.				

■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.			
2.			
3.			

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2024.4.1～2025.3.31	教職員懇親会	
2.	2024.4.1～2025.3.31	後援会学校委員	
3.			